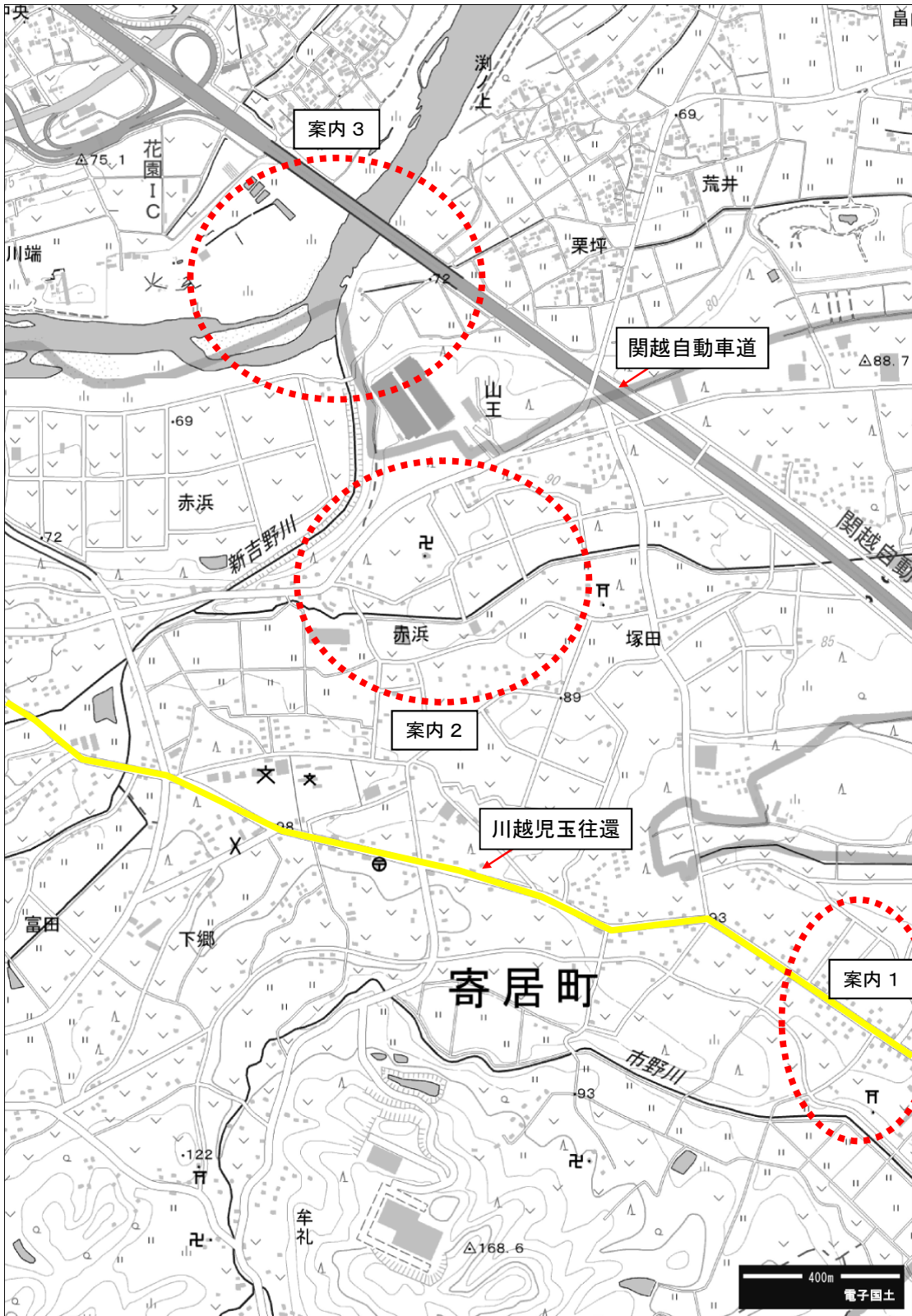


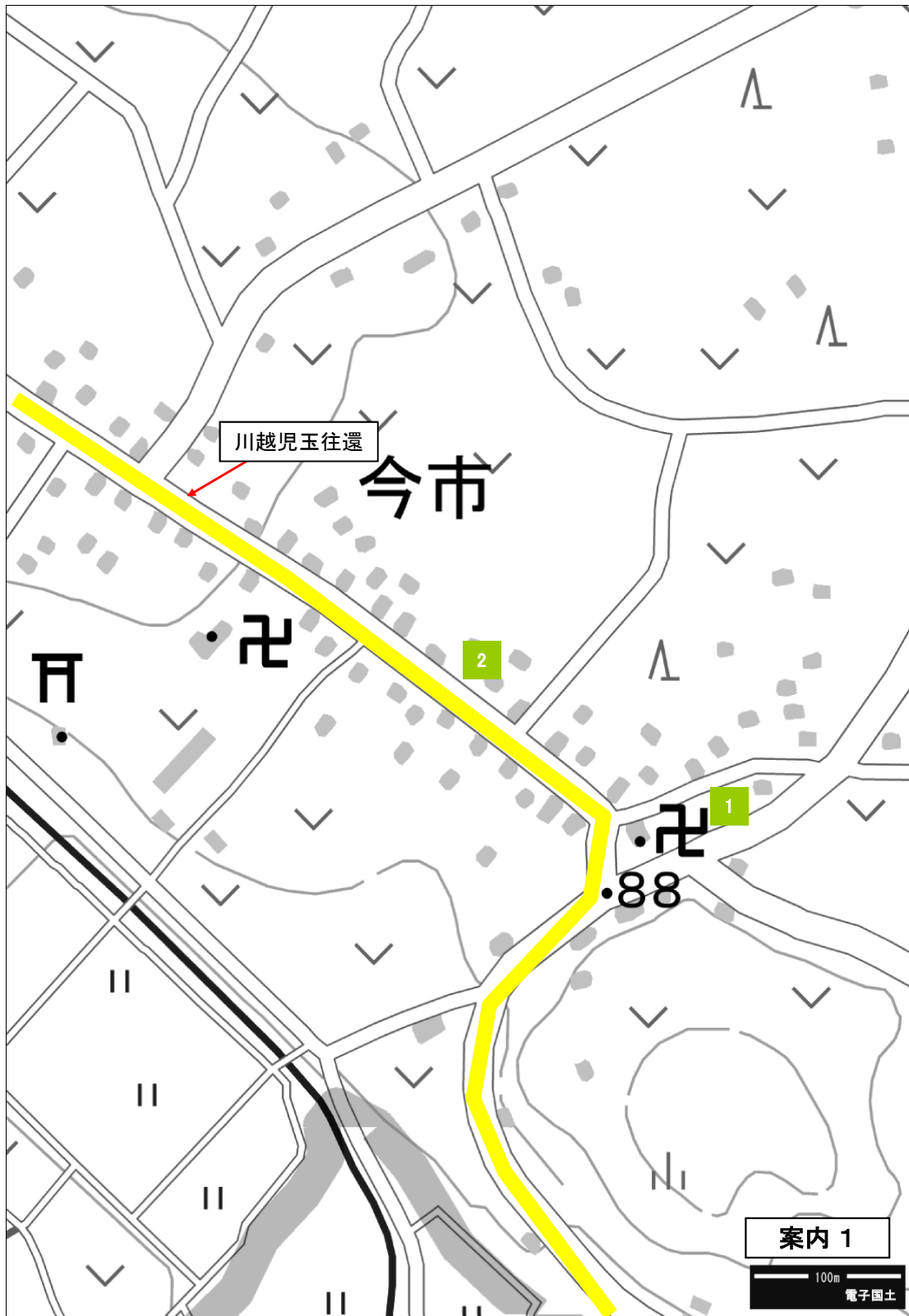
赤浜



案内図

 調査範囲

赤浜



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

赤浜



凡例



史跡・寺社等

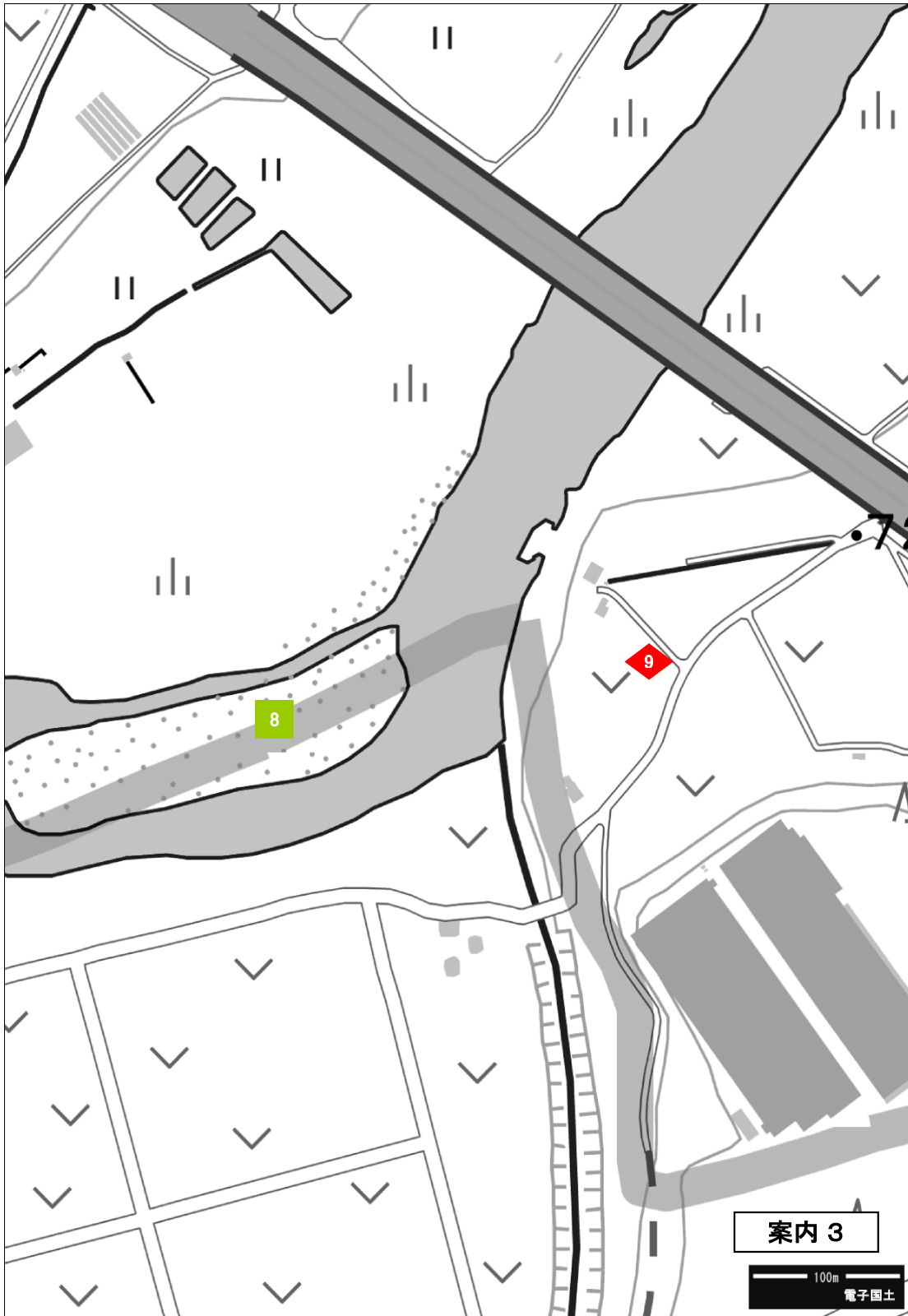


その他の建造物



通り・広場・樹木他

赤浜



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

赤浜



赤浜地区の鎌倉街道 地蔵尊の松

川越・児玉往還にあった宿場町。現在の寄居町大字赤浜周辺が該当する。北側には荒川が流れ『赤浜の渡し』が存在しており、その当番をしていたのが赤浜宿。荒川を渡河した地点で花園村を南北に横断して深谷、岡部、本庄方面へ向かう鎌倉街道は、「榛沢瀬」との通称でも呼ばれる。街道遺構は戦前まで山林として旧状を留めていたそうだが、戦後は僅かに留めるのみとなった。

(写真は寄居町今市付近)

1 今市延命地蔵火の見櫓



街道沿いに、地面に伏すようにして枝を張る松が眼に入り、その根元近くには小さなお地蔵様が。成程、延命地蔵尊を祀る寺の境内であった。境内には古い火の見櫓が建っている。寺とともに長い間この町を見守り続けてきたのだろう。

2 菅谷寄居線沿線



菅谷寄居線沿いの家々。大通りから一本奥に進むと、どこも昔ながらの街道を思わせる古い民家や大谷石の蔵、竹林が顔を覗かせる。高窓や縁側をもつ古民家を今も大切にしているのがよく分かる。



4 古道脇の林



いにしへの鎌倉街道。800年の昔に関東の重要な幹線道路として整備されたが、今は廃道となり雑木林に埋もれた部分とその名残を僅かに伝えるのみである。

5 普光院



寄居町最古の寺。寺の東にかつて人馬が駆け抜ける鎌倉街道が通っていた。北側には広い杉林と堀があったといわれる。

6 史跡「鎌倉街道」上道



県内の主な鎌倉街道は”秩父道”、”中道”、”上道”で行く方向で3つに分かれる。その内の”上道”の史跡が建っていた。現在ではほとんど忘れられている上道だが、鎌倉期以降の戦国時代、関東における古戦場の多くはこの”上道”上にある。

7	街道あと	8 -1 赤浜の渡しの今昔	8 -2 赤浜の渡しと川越岩
			
<p>鎌倉街道は、現代どこにでもあるような町の中の道。畑の中の農道や田園のあぜ道にあったりする。幻の街道と呼ばれるように、廃道と化した部分もある。ここは名も無き野中のわだち。</p>		<p>赤浜の渡しを遠景で見ると、西に花園橋、東は関越自動車道の高速の橋。古のロマンと今様の大規模建造物が視界に同居する。川岸に鎮座する川越岩は、川の水嵩を測り川止めの判断基準とされていた。</p> <p>寄居町赤浜の荒川岸には川越岩という大きな石がある。この岩付近の流れは浅瀬でゆるやか。岩の傍らに鎌倉街道の渡し場があったという。川越岩は、獅子が伏している姿に似ていることから別名獅子岩とも呼ばれる。</p>	
9	鎌倉古街道の碑		
			
<p>荒川のほど近くにひっそりと、鎌倉古街道の碑が立っている。奥の炭焼き小屋のへと続くあぜ道がかつての街道であったのだろうか、その先は雑木林の中へと消えている。</p>			